

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国語 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文の成り立ち・品詞
	2	付属語
	3	品詞の識別・意味用法の理解
	4	敬語
	5	敬語
	6	敬語
	7	四字熟語
	8	ことわざ・故事成語・慣用句
	9	ことわざ・故事成語・慣用句
	10	ことわざ・故事成語・慣用句
	11	対義語・同義語・同音異義語
	12	対義語・同義語・同音異義語
	13	対義語・同義語・同音異義語
	14	対義語・同義語・同音異義語
	15	範囲内まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国語Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文法
	2	文法
	3	文法
	4	文法
	5	漢字・語句
	6	漢字・語句
	7	漢字・語句
	8	漢字・語句
	9	文学史 中古文学
	10	文学史 中古文学
	11	文学史 中古文学
	12	文学史 中古文学
	13	文学史 近世文学
	14	文学史 近世文学
	15	文学史 近現代の文学
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文章理解 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	1 5 時間（1 単位）	
授業回数	1 5 回	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	内容把握問題
	2	内容把握問題
	3	内容把握問題
	4	内容把握問題
	5	内容把握問題
	6	内容把握問題
	7	文章整序問題
	8	文章整序問題
	9	文章整序問題
	10	文章整序問題
	11	空欄補充問題
	12	空欄補充問題
	13	空欄補充問題
	14	空欄補充問題
	15	難解語
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文章理解Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文章理解 内容把握
	2	文章理解 内容把握
	3	文章理解 内容把握
	4	文章理解 内容把握
	5	文章理解 空欄補充
	6	文章理解 空欄補充
	7	文章理解 文章整序
	8	文章理解 文章整序
	9	文章理解 空欄補充
	10	文章理解 空欄補充
	11	英語 読法
	12	英語 読法
	13	英語 文法
	14	英語 文法
	15	英語 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	数的判断 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	序章 数と文字式の計算
	2	方程式
	3	不等式
	4	過不足算
	5	平均算 年齢算
	6	方程式 まとめ
	7	整数・計算パズル 約数と倍数
	8	割り算の余り・カレンダー
	9	整数の性質・数列
	10	魔方陣・虫食算・覆面算・n進法
	11	整数・計算パズル まとめ
	12	割合と比 割合
	13	比
	14	売買算 濃度
	15	割合と比 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	数的判断Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	3年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習			
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	方程式	16	速さ まとめ
	2	方程式	17	仕事算
	3	方程式 まとめ	18	給排水算・ニュートン算
	4	整数・計算パズル 約数と倍数	19	仕事算 給排水算・ニュートン算
	5	割り算の余り・カレンダー	20	仕事算 まとめ
	6	整数の性質・数列	21	場合の数
	7	魔方陣・虫食算・覆面算・n進法	22	順列
	8	整数・計算パズル まとめ	23	道順
	9	割合と比 割合	24	場合の数 まとめ
	10	比	25	確率 事象と確率
	11	売買算 濃度	26	赤玉白玉・くじ引き
	12	割合と比 まとめ	27	サイコロ・コイン
	13	速さ 旅人算	28	確率 まとめ
	14	通過算・流水算	29	数的判断 まとめ
	15	時計算	30	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	判断推理 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	「論理」 対偶と三段論法・確定条件
	2	「論理」 複合命題の分解・「または」と「かつ」・論理と集合
	3	「論理」 まとめ
	4	「集合の要素の個数」 ベン図・キャロル図・特殊な考え方
	5	「集合と要素の個数」 まとめ
	6	「順序の決定」 パズル化・男女の区別・確定条件・順序と対応
	7	「順序の決定」 組み合わせ・変動前の可能性・順序の数値条件
	8	「順序の決定」 時刻表の場合・時計のずれ・方程式
	9	「順序の決定」 まとめ
	10	「対応」 対応表・2集合対応・男女の区別・確定条件
	11	「対応」 数値対応表・複数関係・スケジュール・パズル化
	12	「対応」 まとめ
	13	「位置と方位」 平面型・2列型・位置と職業
	14	「位置と方位」 議長席・円卓・出会い・見える方位、距離
	15	「位置と方位」 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	判断推理Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	3年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	「論理」 対偶と三段論法・確定条件	16	「勝ち負け」 リーグ戦
	2	「論理」 複合命題の分解・「または」と「かつ」・論理と集合	17	「勝ち負け」 まとめ
	3	「論理」 まとめ	18	「カードゲーム」 カード
	4	「集合の要素の個数」 ベン図・キャロル図・特殊な考え方	19	「カードゲーム」 ゲーム
	5	「集合と要素の個数」 まとめ	20	「カードゲーム」 まとめ
	6	「順序の決定」 パズル化・男女の区別・確定条件・順序と対応	21	「うその発言」 該当者・表・グループ分け
	7	「順序の決定」 組み合わせ・変動前の可能性・順序の数値条件	22	「うその発言」 まとめ
	8	「順序の決定」 時刻表の場合・時計のずれ・方程式	23	「推理・手順」 推理・的中・帽子
	9	「順序の決定」 まとめ	24	「推理・手順」 手順・移動回数・油わけ算・てんびん
	10	「対応」 対応表・2集合対応・男女の区別・確定条件	25	「推理・手順」 まとめ
	11	「対応」 数値対応表・複数関係・スケジュール・パズル化	26	「暗号」 置き換え・読解・演算・2進法
	12	「対応」 まとめ	27	「暗号」 トバシヨミ（分置式）・スラシヨミ・演算
	13	「位置と方位」 平面型・2列型・位置と職業	28	「暗号」 まとめ
	14	「位置と方位」 議長席・円卓・出会い・見える方位・距離	29	判断推理 まとめ
	15	「勝ち負け」 トーナメント戦	30	判断推理 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会科学 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	1 5 時間（1 単位）	
授業回数	1 5 回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	政治 I	
授業計画	1	政治の基本概念
	2	権力分立論（議院内閣制）
	3	権力分立論（大統領制）
	4	日本国憲法の特徴・基本的人権総論
	5	包括的基本権
	6	精神的自由権・経済的自由権
	7	人身の自由
	8	社会権
	9	能動的権利
	10	国会①
	11	国会②
	12	内閣①
	13	内閣②
	14	裁判所
	15	地方自治
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会科学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	経済分野の基礎知識を学び、有識者による実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及び有識者による実践的知識を学ぶ	
達成目標	公務に必要な経済の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	経済Ⅰ	
授業計画	1	経済社会の変容と経済体制
	2	現代の企業
	3	現代の市場
	4	現代の市場
	5	国民所得
	6	経済成長と景気循環
	7	通貨制度と金融政策
	8	財政制度
	9	財政政策①
	10	財政政策②
	11	日本経済の動向
	12	現代の諸問題
	13	国際経済の動向
	14	国際経済の動向
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会科学Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	労働問題・環境問題など、社会分野の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会問題の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	社会	
授業計画	1	第一章 社会理論
	2	第一章 社会理論
	3	第一章 確認・第二章 労働問題
	4	第二章 労働問題
	5	第二章 確認・第三章 社会保障①
	6	第三章 社会保障①
	7	第三章 社会保障②
	8	第三章 確認
	9	第四章 環境問題
	10	第四章 環境問題
	11	第五章 国際関係
	12	第五章 国際関係
	13	第六章 現代の諸相
	14	第六章 現代の諸相
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人文科学 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	日本史 I	
授業計画	1	「原始」旧石器文化・縄文文化・弥生文化・大和政権と古墳文化
	2	「古代」聖徳太子の政治と飛鳥文化・大化の改新と白鳳文化
	3	「古代」律令体制の完成と天平文化
	4	「古代」平安時代と国風文化
	5	「古代」文化
	6	「古代」まとめ
	7	「中世」鎌倉時代
	8	「中世」室町時代
	9	「近世」封建社会の確立
	10	「近世」封建社会の確立
	11	「近世」文治政治と元禄文化
	12	「近代」封建社会の確立
	13	「近代」幕末・明治維新と文明開化
	14	「近代」第一次世界大戦と戦後の外交・第二次世界大戦と日本
	15	日本史まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人文科学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	古代および世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な世界社会の歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	世界史Ⅰ	
授業計画	1	古代文明
	2	中国史1
	3	中国史1
	4	中国史3
	5	「中国史」まとめ
	6	周辺諸国の動向
	7	イスラム世界
	8	古代地中海世界
	9	中世ヨーロッパ世界
	10	近代ヨーロッパの誕生
	11	19世紀前半の欧米
	12	19世紀後半の欧米
	13	第一次世界大戦
	14	第二次世界大戦
	15	第二次世界大戦後の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人文科学Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	地理Ⅰ	
授業計画	1	「自然環境と地図」 地形
	2	「自然環境と地図」 地形
	3	「自然環境と地図」 地形
	4	「自然環境と地図」 地図の特色と利用
	5	「自然環境と地図」 世界の気候・植生・土壌
	6	「自然環境と地図」 世界の気候・植生・土壌
	7	「資源と産業」 食料の生産と消費
	8	「資源と産業」 エネルギー資源と原料資源
	9	「世界の国々」
	10	「世界の国々」
	11	「生活と地域」
	12	「生活と地域」
	13	「日本の地理」
	14	「日本の地理」
	15	地理まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	自然科学 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	1 5 時間（1 単位）	
授業回数	1 5 回	
授業概要	物質の仕組みや物質の変化を知識として深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	化学理論の理解と化学各論（無機化合物）についての知識を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	化学	
授業計画	1	物質の分類
	2	物質の粒子
	3	化学結合
	4	状態変化
	5	気体の性質
	6	液体の性質
	7	コロイド
	8	化学変化とエネルギー
	9	化学平衡
	10	酸と塩基
	11	酸化と還元
	12	金属のイオン化傾向
	13	まとめ
	14	まとめ
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	自然科学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	生物	
授業計画	1	第一章 生体の構造・細胞
	2	第一章 生体の構造・細胞分裂
	3	第一章 生体の構造・組織と器官
	4	第二章 酸素・呼吸・同化
	5	第二章 消化作用
	6	第三章 無為・有性生殖
	7	第四章 メンデルの法則
	8	第四章 染色体と遺伝現象
	9	第四章 遺伝子の本体と変異
	10	第五章 興奮・神経系・受容器と作動体
	11	第六章 自律神経とホルモンによる調整
	12	第七章 生物の集団
	13	第六章 体液・免疫
	14	第六章 循環系・肝・腎臓
	15	まとめ 確認・第八章 生態系・退化
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	自然科学Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	物理	
授業計画	1	運動の表現①
	2	運動の表現①
	3	運動の表現②
	4	運動の表現②
	5	力の表現①
	6	力の表現①
	7	力学的エネルギー①
	8	力学的エネルギー①
	9	力学的エネルギー②（運動量）
	10	力学的エネルギー②（運動量）
	11	熱量
	12	熱量
	13	波動について①
	14	波動について①
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	自然科学IV	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身につける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、方程式中心に、基礎的な知識と計算技術を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	数学 I	
授業計画	1	実数・指数
	2	平方根
	3	因数分解
	4	剰余の定理
	5	不等式
	6	解と係数の関係
	7	判別式
	8	1次関数
	9	2次関数①
	10	2次関数②
	11	2次関数③
	12	図形の移動
	13	不等式と領域
	14	三角関数
	15	指数・対数 総まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	自然科学V	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	地学 I	
授業計画	1	「地球の姿と動く大地」地球の形と内部構造
	2	「地球の姿と動く大地」動く大地
	3	「地球の姿と動く大地」地震
	4	「地球の姿と動く大地」プレートと日本列島
	5	「地球と人類」地層の比較
	6	「地球と人類」地質年代と日本列島の変遷・地球の資源と環境の変化
	7	「岩石」火成岩とマグマ・堆積岩と風化作用
	8	「岩石」変成岩と造山運動
	9	「大気と海洋」大気の構造と地球の熱収支
	10	「大気と海洋」雲と降雨
	11	「大気と海洋」地球をめぐる大気
	12	「大気と海洋」気象現象と日本の四季・海洋と海水
	13	「太陽系と宇宙の構造」地球の運動・太陽系と惑星
	14	「太陽系と宇宙の構造」恒星・銀河と宇宙
	15	「地球と人類」地球の誕生と生命の起源・地形の変化
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎分野総合	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間（単位数）	120時間（8単位）	
授業回数	120回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	基礎的な内容の50題の模擬試験で30点以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1～150	基礎的なレベルの模擬試験およびその解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法学概論 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	法学
	2	法学
	3	行政法
	4	行政法
	5	行政法
	6	行政法
	7	行政法
	8	行政法
	9	民法
	10	民法
	11	民法
	12	民法
	13	刑法
	14	刑法
	15	法学まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済事情 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	経済事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済史
	2	日本経済史
	3	日本経済史
	4	日本経済史
	5	世界経済史
	6	世界経済史
	7	世界経済史
	8	世界経済史
	9	日本経済事情
	10	日本経済事情
	11	日本経済事情
	12	日本経済事情
	13	世界経済事情
	14	世界経済事情
	15	経済まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文章表現	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	専門論文・論作文対策について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	専門・教養の論作文対策から公務に必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	作文
	2	作文
	3	作文
	4	作文
	5	作文
	6	作文
	7	作文
	8	作文
	9	論文
	10	論文
	11	論文
	12	論文
	13	論文
	14	論文
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス基礎	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	職場のマナー
	2	職場のマナー
	3	職場のマナー
	4	職場のマナー
	5	挨拶と敬語
	6	挨拶と敬語
	7	挨拶と敬語
	8	挨拶と敬語
	9	電話対応
	10	電話対応
	11	電話対応
	12	電話対応
	13	営業マナーと商品説明・クレーム対応
	14	営業マナーと商品説明・クレーム対応
	15	社会人マナー
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン基礎	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCELの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	パソコンの基本操作①
	2	パソコンの基本操作②
	3	パソコンの基本操作③
	4	パソコンの基本操作④
	5	マイクロソフトオフィスの機能
	6	WORDの基本操作①
	7	WORDの基本操作②
	8	WORDの基本操作③
	9	WORDの基本操作④
	10	WORD効果測定
	11	EXCELの基本操作①
	12	EXCELの基本操作②
	13	EXCELの基本操作③
	14	EXCELの基本操作④
	15	EXCEL効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字 I	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間（単位数）	1 5 時間（1 単位）	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	漢字の訓読み 練習問題
	2	漢字の訓読み 練習問題
	3	送り仮名 練習問題
	4	送り仮名 練習問題
	5	熟語 練習問題
	6	熟語 練習問題
	7	誤字・訂正 練習問題
	8	誤字・訂正 練習問題
	9	同意意義 練習問題
	10	同意意義 練習問題
	11	異字同訓 練習問題
	12	異字同訓 練習問題
	13	模擬試験
	14	模擬試験
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	漢字の訓読み
	2	漢字の訓読み
	3	送り仮名
	4	送り仮名
	5	熟語
	6	熟語
	7	誤字 訂正
	8	誤字 訂正
	9	同音異義
	10	同音異義
	11	反対語・類義語
	12	反対語・類義語
	13	漢字の意味・漢字の使い方
	14	漢字の意味・漢字の使い方
	15	練習問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間（単位数）	15時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	漢字の訓読み
	2	漢字の訓読み
	3	送り仮名
	4	送り仮名
	5	熟語
	6	熟語
	7	誤字 訂正
	8	誤字 訂正
	9	同音異義
	10	同音異義
	11	反対語・類義語
	12	反対語・類義語
	13	漢字の意味・漢字の使い方
	14	漢字の意味・漢字の使い方
	15	練習問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	解剖学・生理学			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	60時間（4単位）			
授業回数	60回			
授業概要	人体の構造と機能及び心身の発達に関する知識を系統的に習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	人体の構造と機能及び心身の発達に関する知識を系統的に理解する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1・2	人体の作りとその役割（細胞・組織・	42～44	内分泌・老化
	3・4	体液（体液の組成・細胞外液・細胞内	45	血液
	5～12	運動系	46	血液まとめ
	13～19	神経系	47・48	血液・免疫系
	20～22	感覚器系	49	神経系・感覚系まとめ
	23～26	呼吸器系	50	免疫系
	27	呼吸器系・感覚器まとめ	51	筋・骨格系（構造と機能・筋肉・骨と関節）
	28～31	循環系	52	人体の構造・構成まとめ
	32	神経系まとめ	53・54	筋・骨格系・皮膚系まとめ
	33・34	消化器系	55・56	皮膚系
	35・36	小腸・大腸	57	代謝・ミネラル・ビタミン
	37・38	循環器まとめ・泌尿器系	58	生命の維持
	39	排尿機構	59・60	解剖学・生理学まとめ
	40	生殖		
41	消化管まとめ・生殖			
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	病理学・法医学			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	病因や病変、障害、損傷、炎症、腫瘍といった疾病の基本を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	疾病及び障害に関する知識を系統的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	疾患（病因）	16	物質代謝障害（内分泌異常）・炎症と感染症（炎症）
	2	疾患（病因）	17	炎症と感染症（炎症）
	3	疾患（病因）	18	炎症と感染症（感染症）
	4	疾患（発症と経過・回復に必要な要素）	19	炎症と感染症（感染症）
	5	疾患（回復と予防）	20	炎症と感染症（感染症）・損傷
	6	疾患（回復と予防・循環障害）	21	老化と死
	7	循環障害	22	老化と死・先天異常
	8	循環障害	23	先天異常
	9	退行性病変	24	まとめ試験（模擬試験）
	10	退行性病変	25	まとめ試験解説
	11	進行性病変	26	先天異常
	12	物質代謝障害（水・電解質・糖質）	27	腫瘍
	13	物質代謝障害（糖質・蛋白質・脂肪・色素）	28	腫瘍
	14	物質代謝障害（色素・ビタミン）	29	腫瘍
	15	物質代謝障害（ビタミン・酸塩基異常・内分泌）	30	臨床検査データの見方・総括
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	薬理学			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	薬物の作用や動態を通じて薬剤投与に関する理解を深める			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	疾病及び障害に関する知識を系統的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	薬物総論	16	使用頻度の高い薬
	2	薬物総論	17	輸液・輸血製材
	3	薬物総論	18	輸液・輸血製材
	4	薬物総論	19	輸液・輸血製材
	5	薬物の有害作用	20	輸液・輸血製材
	6	薬物の有害作用	21	保存と保守管理
	7	救急救命処置に用いられる薬剤	22	保存と保守管理
	8	救急救命処置に用いられる薬剤	23	医薬品まとめ
	9	救急救命処置に用いられる薬剤	24	医薬品まとめ
	10	救急救命処置に用いられる薬剤	25	検査（目的・基準値など）
	11	使用頻度の高い薬	26	検査（種類）
	12	使用頻度の高い薬	27	検査（緊急検査）
	13	使用頻度の高い薬	28	検査（緊急検査）
	14	使用頻度の高い薬	29	薬物と検査まとめ
	15	使用頻度の高い薬	30	薬物と検査まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	健康と社会保障			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	公衆衛生の基本的考え方、国民の健康や医療について理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	公衆衛生の基本的考え方を理解し、医療及び福祉についての知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	人間と人間生活（身体・心）	16	保健医療制度の仕組みと現状（労働衛生・学校保健・母子保健）
	2	人間と人間生活（生活）	17	保健医療制度の仕組みと現状（地域保健・高齢者・精神保健福祉）
	3	科学的思考の基礎	18	保健医療制度の仕組みと現状（地域保健・高齢者・精神保健福祉）
	4	科学的思考の基礎	19	社会保障と社会福祉（社会保障・社会福祉の仕組み）
	5	生命の倫理と医の倫理	20	社会保障と社会福祉（社会保障・社会福祉の仕組み）
	6	生命の倫理と医の倫理	21	社会保障と社会福祉（社会保険と制度）
	7	救急救命士の職業倫理	22	社会保障と社会福祉（社会保険と制度）
	8	救急救命士の職業倫理	23	社会保障と社会福祉（社会保険と制度）
	9	保健医療制度の仕組みと現状（公衆衛生）	24	社会保障と社会福祉（社会保険と制度）
	10	保健医療制度の仕組みと現状（公衆衛生）	25	社会保障と社会福祉（社会福祉と制度）
	11	保健医療制度の仕組みと現状（医療を取り巻く環境）	26	社会保障と社会福祉（社会福祉と制度）
	12	保健医療制度の仕組みと現状（医療を取り巻く環境）	27	社会保障と社会福祉（社会福祉と制度）
	13	保健医療制度の仕組みと現状（医療供給体制・環境保健）	28	社会保障と社会福祉（社会福祉と制度）
	14	保健医療制度の仕組みと現状（医療供給体制・環境保健）	29	まとめ
	15	保健医療制度の仕組みと現状（労働衛生・学校保健・母子保健）	30	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救急医学概論 I			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	国内や地域の救急医療体制や災害医療について理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	地域における救急救命士の役割及び医療体制について理解する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	心肺蘇生法手順について	16	救急活動
	2	救命の連鎖	17	救急活動・MIST
	3	一次救命処置	18	接遇とコミュニケーション
	4	一次救命処置	19	コミュニケーション・リビングウィル
	5	一次救命処置	20	コミュニケーション・リビングウィル
	6	一次救命処置	21	救急救命士に関連する法令（救急救命士法）
	7	救急蘇生ガイドライン	22	救急救命士に関連する法令（救急救命士法）
	8	小児・新生児/救命講習	23	救急救命士に関連する法令（救急救命士法）
	9	救急蘇生ガイドライン	24	救急救命士に関連する法令（救急救命士法）
	10	小児・新生児/救命講習	25	救急救命士に関連する法令（その他の法令）
	11	初期・二・三次医療機関	26	救急救命士に関連する法令（その他の法令）
	12	アルゴリズム・プロトコール	27	救急救命士に関連する法令（その他の法令）
	13	メディカルコントロール	28	救急救命士の養成と生涯教育
	14	メディカルコントロール	29	まとめ
	15	救急活動	30	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救急医学概論Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	トリアージ、多数傷病者への対応標準化トレーニングの概念を理解する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	救急現場、搬送過程における災害医療についての知識を系統的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	災害の概念	16	MCLS
	2	災害について	17	MCLS
	3	トリアージ	18	MCLS
	4	トリアージ	19	MCLS
	5	トリアージ	20	感染対策
	6	災害	21	感染対策
	7	災害	22	感染対策
	8	災害	23	感染対策
	9	災害サイクル	24	感染対策
	10	CBRNE	25	感染対策
	11	CBRNE	26	感染対策
	12	CBRNE	27	感染対策
	13	CBRNE	28	感染対策
	14	MCLS	29	ストレス
	15	MCLS	30	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	観察・判断			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	全身状態・局所の観察を理解する。緊急度・重症度の判断を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	救急救命処置に係る適応や合併症、医療事故対策について理解する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	観察の目的と意義	16	全身状態の観察（意識）
	2	観察の基本（バイタルサイン）	17	全身状態の観察（意識）
	3	バイタルサイン	18	全身状態の観察（麻痺）
	4	観察の方法	19	全身状態の観察（まとめ）
	5	状況評価	20	全身状態の観察（まとめ）
	6	状況評価	21	局所の観察（皮膚・頭部・顔面）
	7	初期評価	22	局所の観察（皮膚・頭部・顔面）
	8	初期評価・全身観察	23	局所の観察（頸部・胸部）
	9	車内活動	24	局所の観察（頸部・胸部）
	10	全身状態の観察	25	局所の観察（腹部）
	11	全身状態の観察	26	局所の観察（腹部）
	12	気道呼吸の観察	27	局所の観察（骨盤・四肢）
	13	循環の観察	28	緊急度・重症度判断
	14	循環の観察	29	資器材による観察
	15	循環の観察	30	資器材による観察（まとめ）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救命処置			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	45時間（3単位）			
授業回数	45回			
授業概要	救急救命処置、各種特定行為プロトコールについて理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	救急救命処置に係る適応や合併症、医療事故対策について理解する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1～10	一次救命処置（BLS）	25	在宅医療の継続
	11	気道確保・異物除去・吸引	26	在宅医療の継続
	12	気道確保・異物除去・吸引・人工呼吸器	27～31	気管挿管
	13	心肺蘇生法・自動心臓マッサージ器	32	気管内吸引
	14	小児・乳児BLS	33	気管内吸引
	15	心肺機能停止プロトコール	34～37	静脈路確保
	16	心肺機能停止プロトコール	38	薬剤投与（アドレナリン・ブドウ糖）
	17	上気道デバイス	39	薬剤投与（アドレナリン・ブドウ糖）
	18	上気道デバイス	40～42	救急業務各プロトコール
	19	傷病者搬送・体位管理・保温	43	妊婦・新生児の基礎知識
	20	傷病者搬送・体位管理・保温	44	分娩介助
	21	創傷処置・固定	45	分娩介助
	22	資器材取扱い・車外救出		
	23	資器材取扱い・車外救出		
24	車外救出			
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救急症候学 I			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	意識障害、脳卒中の症候・徴候に対する必要な処置が理解できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	意識障害の評価法（JCS・GCS）	16	めまいの概論
	2	一次性脳病変と二次性脳病変に関して	17	めまい
	3	一次性脳病変と二次性脳病変の意識障害の違い	18	めまい
	4	低血糖に関する詳細	19	呼吸困難（吸気性・呼気性の分類）
	5	バイタルサインの異常と原因疾患	20	呼吸困難（混合性）
	6	意識障害に随伴する一般症候	21	呼吸困難と随伴症候
	7	意識障害 まとめ	22	呼吸困難（緊急度・重症度の判断）
	8	頭痛の概論	23	呼吸困難（現場観察・処置）
	9	頭痛の種類	24	喀血の概論・呼吸器系
	10	頭痛以外の随伴症状と疾患	25	喀血（原因疾患）
	11	痙攣の概論	26	喀血（観察と処置）
	12	痙攣の種類・発症要因	27	範囲内のまとめ（痙攣・運動麻痺）
	13	痙攣症状の区別	28	範囲内のまとめ（めまい）
	14	重症度の判断・運動麻痺の概論	29	範囲内のまとめ（呼吸困難）
	15	運動麻痺	30	範囲内のまとめ（喀血）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救急症候学Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	意識障害、脳卒中の症候・徴候に対する必要な処置が理解できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	失神	16	腹痛
	2	失神	17	吐下血
	3	失神	18	吐下血
	4	失神	19	吐下血
	5	胸痛	20	吐下血
	6	胸痛	21	腰痛
	7	胸痛	22	腰痛
	8	胸痛	23	腰痛・背部痛
	9	胸痛	24	腰痛・背部痛
	10	動悸	25	背部痛
	11	動悸	26	背部痛
	12	動悸	27	体温上昇
	13	腹痛	28	体温上昇
	14	腹痛	29	まとめ
	15	腹痛	30	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	病態生理学 I			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	心肺停止の病態生理が理解でき観察、評価、処置及び搬送に反映できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	心肺停止の概念・死戦期呼吸	16	ショックの概論・体内水分量の調節
	2	疫学・ウツタイン様式	17	循環血液量減少性ショック
	3	心臓の機能・心肺停止の病因	18	循環血液量減少性ショック
	4	心臓・心電図基礎・不整脈	19	心原性ショック
	5	組織の酸素化	20	心原性ショック
	6	心肺蘇生中の循環	21	心外閉塞・拘束性ショックの概論
	7	心肺蘇生の循環・冠灌流圧・脳灌流圧	22	心タンポナーデ・緊張性気胸について
	8	心拍再開後の後症候群	23	血液分布異常性ショック（アナフィラキシー）
	9	心拍再開後に悪影響を与える因子	24	血液分布異常性ショック（敗血症性）
	10	心拍再開後の後の復帰について	25	血液分布異常性ショック（処置）
	11	心電図分類	26	血液分布異常性ショック（神経原性）
	12	心電図分類	27	ショック（まとめ）
	13	心肺停止（まとめ）	28	ショック（まとめ）
	14	心肺停止（総復習）	29	心肺停止・ショック 総復習
	15	心肺停止（総復習2）	30	心肺停止・ショック 総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	病態生理学Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	呼吸不全・心不全・重症脳障害の病態生理が理解でき、観察、評価、処置及び搬送に反映できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	呼吸不全 概論	16	心不全 病態・心電図
	2	呼吸不全 病態	17	心不全 病態
	3	呼吸運動 メカニズム	18	心不全 原因
	4	呼吸運動 病態	19	心不全 現場活動
	5	気道障害 メカニズム	20	脳障害 脳解剖・総論
	6	気道障害 病態	21	脳障害 発生機序
	7	肺胞障害 メカニズム	22	脳障害 分類
	8	肺胞障害 病態	23	脳障害 頭蓋内圧亢進
	9	間質の障害	24	脳障害 現場活動など
	10	まとめ	25	脳障害 脳ヘルニア
	11	心不全	26	脳障害 脳ヘルニア・特殊意識障害
	12	心電図 基礎	27	脳障害 まとめ
	13	心電図 簡単な読み方	28	脳障害 まとめ
	14	心不全 メカニズム	29	心不全 まとめ
	15	心不全 病態	30	心不全 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	疾病救急医学 I			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	神経系疾患の発症機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	総論	16	脳血管障害
	2	主要症候	17	中枢神経系の感染症
	3	中枢神経系の解剖と生理	18	中枢神経系の感染症
	4	中枢神経系の解剖と生理	19	中枢神経系の感染症
	5	末梢神経系・自律神経系の解剖と生理	20	中枢神経系の感染症
	6	末梢神経系・自律神経系の解剖と生理	21	末梢神経疾患
	7	主要症候	22	末梢神経疾患
	8	主要症候	23	末梢神経疾患
	9	基本的対応	24	末梢神経疾患
	10	基本的対応	25	その他の中枢神経疾患
	11	脳血管障害	26	その他の中枢神経疾患
	12	脳血管障害	27	その他の中枢神経疾患
	13	脳血管障害	28	その他の中枢神経疾患
	14	脳血管障害	29	神経系疾患まとめ
	15	脳血管障害	30	神経系疾患まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	疾病救急医学Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	循環器・内分泌・代謝疾患及びその他疾患の発症機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる□			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	循環系の解剖と生理	16	循環系疾患まとめ
	2	循環系の解剖と生理	17	代謝・内分泌・栄養系疾患 総論
	3	循環系疾患総論	18	代謝・内分泌・栄養系疾患 総論
	4	循環系疾患総論	19	糖尿病と合併症
	5	動脈硬化	20	糖尿病と合併症
	6	うっ血性心不全	21	その他の代謝異常
	7	虚血性心疾患	22	その他の代謝異常
	8	虚血性心疾患	23	内分泌疾患
	9	心筋疾患	24	栄養疾患 代謝・内分泌・栄養系疾患まとめ
	10	心膜疾患	25	血液・免疫系疾患総論
	11	不整脈	26	血液疾患
	12	心電図の解読	27	筋骨格系・皮膚疾患
	13	その他の心疾患・血管疾患	28	眼・耳・鼻の疾患
	14	その他の心疾患・血管疾患	29	範囲内のまとめ
	15	循環系疾患まとめ	30	範囲内のまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	疾病救急医学Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	呼吸器疾患及び消化器及び泌尿器系疾患の発症機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる□			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	呼吸器系の解剖と生理	16	消化系の解剖と生理
	2	呼吸器系の解剖と整理	17	消化系疾患総論
	3	呼吸器疾患総論	18	消化系疾患総論
	4	呼吸不全	19	食道・胃・十二指腸・腸 疾患
	5	上気道の疾患	20	食道・胃・十二指腸・腸 疾患
	6	上気道の疾患	21	肝臓・胆道・膵臓 疾患
	7	下気道と肺胞の疾患	22	肝臓・胆道・膵臓 疾患
	8	下気道と肺胞の疾患	23	泌尿器・生殖器系の解剖と生理
	9	感染症・胸膜疾患	24	泌尿器・生殖器系の解剖と生理
	10	感染症・胸膜疾患	25	泌尿器・生殖器系疾患総論
	11	その他の呼吸系疾患	26	腎臓の疾患
	12	その他の呼吸系疾患	27	尿路の疾患
	13	呼吸系疾患まとめ	28	尿路の疾患
	14	呼吸系疾患まとめ	29	生殖器疾患
	15	消化系の解剖と生理	30	泌尿器・生殖器系疾患まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	疾病救急医学Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	3年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	小児に特有な疾患及び妊娠・分娩と救急疾患の発症機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる□			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	小児に特有な疾患 総論	16	異常分娩
	2	小児に特有な疾患 総論	17	妊婦の観察と処置
	3	小児に特有な疾患 観察と判断	18	妊婦の観察と処置
	4	小児に特有な疾患 主な疾患	19	妊婦の観察と処置
	5	小児に特有な疾患 主な疾患	20	妊婦の観察と処置
	6	小児に特有な疾患 主な疾患	21	新生児の観察と処置
	7	小児に特有な疾患 まとめ	22	新生児の観察と処置
	8	小児に特有な疾患 まとめ	23	新生児の観察と処置
	9	妊娠・分娩と救急疾患 正常妊娠	24	新生児の観察と処置
	10	妊娠・分娩と救急疾患 正常妊娠	25	新生児救急蘇生法
	11	妊娠・分娩と救急疾患 正常妊娠	26	新生児救急蘇生法
	12	妊娠・分娩と救急疾患 正常妊娠	27	新生児救急蘇生法
	13	正常分娩と異常分娩	28	新生児救急蘇生法
	14	正常分娩と異常分娩	29	全体のまとめ
	15	異常分娩	30	全体のまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	疾病救急医学Ⅴ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	3年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	高齢者に特有な疾患及び精神系疾患の発症機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	症候・病態ごとに観察、評価、鑑別、処置に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	高齢者に特有な疾患 総論	16	感染症 輸入感染症・その他
	2	高齢者に特有な疾患 総論	17	感染症 まとめ
	3	高齢者に特有な疾患 主な疾患	18	感染症 まとめ
	4	高齢者に特有な疾患 主な疾患	19	精神障害 総論
	5	感染症 総論	20	精神障害 総論
	6	感染症 総論	21	精神障害 統合失調症
	7	感染症 総論	22	精神障害 統合失調症
	8	感染症 総論	23	精神障害 気分障害・器質性精神障害
	9	感染症 敗血症	24	精神障害 気分障害・器質性精神障害
	10	感染症 敗血症	25	精神障害 中毒性障害・その他
	11	感染症 結核・インフルエンザ	26	精神障害 中毒性障害・その他
	12	感染症 結核・インフルエンザ	27	精神障害 向精神薬の副作用
	13	感染症 食中毒	28	精神障害 向精神薬の副作用
	14	感染症 食中毒	29	精神障害 まとめ
	15	感染症 輸入感染症・その他	30	精神障害 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	外傷 I			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	60時間（4単位）			
授業回数	60回			
授業概要	高エネルギー外傷及び外傷一般における受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	外傷の受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、鑑別、処置及び搬送法に関する知識を系統的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	外傷総論	23～28	頭部外傷
	2	ロードアンドゴー	29～32	顔面・頸部外傷
	3	感染防止	33～37	胸部外傷
	4	資器材について	38～42	腹部外傷
	5	状況評価	43～46	頭部～腹部外傷まとめ
	6	状況評価	47～49	骨盤・四肢外傷
	7～12	初期評価	50	四肢外傷
	13	各ショックについて	51	脊椎・脊髄外傷
	14	各ショックについて	52	脊椎・脊髄外傷
	15	出血性ショックについて	53	皮膚・軟部組織の外傷
	16	意識レベル JCS・GCS	54	状況評価・初期評価・全身観察・車内活動まとめ
	17	意識について	55	状況評価・初期評価・全身観察・車内活動まとめ
	18～20	全身観察	56	小児・高齢者・妊婦の外傷
	21	重点・詳細・継続観察	57	小児・高齢者・妊婦の外傷
22	継続観察・車内活動	58～60	外傷まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	外傷Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	熱傷、その他の外傷について受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	外傷の受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、鑑別、処置及び搬送法に関する知識を系統的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	熱傷総論	16	観察・処置
	2	皮膚の解剖	17	電撃症・雷撃症
	3	熱傷	18	電撃症
	4	受傷機転と病態	19	電撃症・雷撃症
	5	熱傷	20	雷撃症
	6	評価	21	縊頸・絞頸
	7	熱傷	22	縊頸・絞頸
	8	評価	23	刺咬症（傷）
	9	熱傷	24	刺咬症（傷）
	10	処置	25	刺咬症（傷）
	11	熱傷	26	刺咬症（傷）
	12	まとめ	27	異物
	13	化学損傷	28	異物
	14	各種の化学損傷	29	範囲内まとめ
	15	化学損傷	30	範囲内まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	環境障害・急性中毒学			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	環境因子、中毒物質、放射線等による障害の発生機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、処置及び搬送法に反映できる			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	環境因子、中毒物質、放射線等による障害の発生機序、病態、症状、所見及び予後等について理解し、観察、評価、鑑別、処置及び搬送法に関する知識を系統的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	熱傷総論	16	観察・処置
	2	皮膚の解剖	17	電撃症・雷撃症
	3	熱傷	18	電撃症
	4	受傷機転と病態	19	電撃症・雷撃症
	5	熱傷	20	雷撃症
	6	評価	21	縊頸・絞頸
	7	熱傷	22	縊頸・絞頸
	8	評価	23	刺咬症（傷）
	9	熱傷	24	刺咬症（傷）
	10	処置	25	刺咬症（傷）
	11	熱傷	26	刺咬症（傷）
	12	まとめ	27	異物
	13	化学損傷	28	異物
	14	各種の化学損傷	29	範囲内まとめ
	15	化学損傷	30	範囲内まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救急シミュレーション I			
実務家教員	○			
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間（単位数）	315時間（7単位）			
授業回数	158回			
授業概要	基本的な救急手技と隊活動（チーム医療）を実習する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う			
教科書	テキスト及び参考書			
特記	救急救命士の実務経験者のある教員が、救急現場における救急医療に関する技術と知識等の教授を行う			
授業計画	1～7	BLS市民用	104～111	LM・LT隊活動
	8～11	BLS市民用 効果測定	112～114	JPTEC 効果測定
	12～19	BVM・PBLS	115・116	器材点検
	20～24	BVM 効果測定	117・118	異物除去
	25～39	隊活動初動	119・120	異物除去 効果測定
	40～44	隊活動初動 効果測定	121～126	挿管準備
	45～53	JPTEC (HR・NC・LRool・SML)	127・128	挿管準備 効果測定
	54～68	JPTEC 初期評価	129～131	挿管手技
	69～70	初期評価 効果測定	132～143	気管挿管・上気道デバイス
	71～73	全身観察 車内活動	144～147	挿管 効果測定
	74～80	状況評価・初期評価・全身観察・車内活動	148～154	上気道デバイス 隊活動
	81・82	JPTEC OSCE	155～158	上気道デバイス 隊活動効果測定
	83～90	CPA隊活動		
	91～98	LM・LT隊活動		
99～103	LM・LT 基本手技 効果測定			
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	救急シミュレーションⅡ			
実務家教員	○			
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間（単位数）	405時間（9単位）			
授業回数	203回			
授業概要	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	救急シミュレーションⅠで修得した基本的手技から特定行為などの侵襲的医療手技を学び、各種想定で隊活動を実習する。 隊活動では、観察・処置の優先順位を説明できることを目標とする			
教科書	テキスト及び参考書			
特記	救急救命士の実務経験者のある教員が、救急現場における救急医療に関する技術と知識等の教授を行う			
授業計画	1～11	IV(確保点検)	161～200	ショック傷病者想定実習（ショック輸液）
	12～21	IV 点検 準備	201～203	OSCE 救急想定実習（総合シミュレーション）
	22～28	IV 点検 準備 穿刺		
	29～36	IV 確保 要領		
	37～46	IV 確保 要領 効果測定		
	47・48	アドレナリン投与 要領		
	49～52	アドレナリン投与		
	53～64	アドレナリン投与 隊活動		
	65～68	アドレナリン投与 隊活動 効果測定		
	69～94	アドレナリン投与 隊活動		
	95～105	アドレナリン投与		
	106～136	CPA想定（アドレナリン投与）効果測定		
	137～148	意識障害傷病者想定実習 観察要領		
	149～152	血糖測定手技		
153～160	資器材点検			
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急シミュレーションⅢ	
実務家教員	○	
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間（単位数）	180時間（4単位）	
授業回数	90回	
授業概要	<p>疾病・外傷・その他様々な原因による救急活動を総合的な実技を実施することにより、病院前救護体制を理解し、傷病者にとって有益な処置を実施する。            国家試験で出題された状況設定問題を活用した想定を実習班で作成し、実習することにより症候・病態に対する観察や処置を理解する。また、処置の優先順位を説明できる判断能力を養う</p>	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	<p>修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う</p>	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	救急救命士の実務経験者のある教員が、救急現場における救急医療に関する技術と知識等の教授を行う	
授業計画	1～90	総合シミュレーション（内因性・外因性）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急車同乗実習	
実務家教員	○	
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間（単位数）	45時間（1単位）	
授業回数	6回	
授業概要	近隣消防本部において、インターンシップ研修を依頼し、救急自動車・救急隊のみならず消防組織・消防業務並びに地域メディカルコントロール体制について学び、学内救急自動車を用いて車内活動を実習し、救急隊の活動を学ぶ	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う	
教科書	配布プリント・資料	
特記	救急救命士の実務経験者のある教員が、救急現場における救急医療に関する技術と知識等の教授を行う	
授業計画	1	実習要項
	2～6	臨地実習（消防署）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急病院実習	
実務家教員	○	
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間（単位数）	180時間（4単位）	
授業回数	23回	
授業概要	<p>近隣の救命救急センターを有する三次医療機関において、プレホスピタルからインホスピタルの連携を学ぶ。                      救急救命士病院実習ガイドライン等の実習内容に準拠した大原学園臨地実習要綱を遵守し、実習指導医の指導により観察・処置を実習する。                      病棟におけるナースングケア・バイタルサイン測定を実習する</p>	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	実務家より医療従事者としての知識・技能を学ぶ	
授業計画	1	実習要項
	2	実習前オリエンテーション
	3～23	臨地実習（病院）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合救急医学 I			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	各種基本手技の効果測定を実施することにより、ステップアップを図る。			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	各種手技における反復練習及び効果測定	16	各種手技における反復練習及び効果測定
	2	各種手技における反復練習及び効果測定	17	各種手技における反復練習及び効果測定
	3	各種手技における反復練習及び効果測定	18	各種手技における反復練習及び効果測定
	4	各種手技における反復練習及び効果測定	19	各種手技における反復練習及び効果測定
	5	各種手技における反復練習及び効果測定	20	各種手技における反復練習及び効果測定
	6	各種手技における反復練習及び効果測定	21	各種手技における反復練習及び効果測定
	7	各種手技における反復練習及び効果測定	22	各種手技における反復練習及び効果測定
	8	各種手技における反復練習及び効果測定	23	各種手技における反復練習及び効果測定
	9	各種手技における反復練習及び効果測定	24	各種手技における反復練習及び効果測定
	10	各種手技における反復練習及び効果測定	25	各種手技における反復練習及び効果測定
	11	各種手技における反復練習及び効果測定	26	各種手技における反復練習及び効果測定
	12	各種手技における反復練習及び効果測定	27	各種手技における反復練習及び効果測定
	13	各種手技における反復練習及び効果測定	28	各種手技における反復練習及び効果測定
	14	各種手技における反復練習及び効果測定	29	各種手技における反復練習及び効果測定
	15	各種手技における反復練習及び効果測定	30	各種手技における反復練習及び効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合救急医学Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	救急救命士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間（単位数）	30時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	各種基本手技の効果測定を実施することにより、ステップアップを図る。			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	16	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	2	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	17	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	3	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	18	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	4	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	19	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	5	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	20	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	6	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	21	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	7	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	22	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	8	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	23	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	9	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	24	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	10	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	25	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	11	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	26	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	12	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	27	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	13	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	28	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	14	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	29	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
	15	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定	30	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合救急医学Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	救急救命士学科	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間（単位数）	150時間（10単位）	
授業回数	150回	
授業概要	各種基本手技の効果測定を実施することにより、ステップアップを図る。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	修得した知識、技術を病院前救護において的確かつ安全に応用できる実践能力を身につけ、メディカルコントロールの重要性を確認し、傷病者に対する適切な接遇を習得し、医師の指示の下で病院前救急医療を担う医療従事者としての自覚と責任感を養う。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1～150	各種手技・隊活動における反復練習及び効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		